



平成 29 年 5 月 18 日

各 位

会社名 阿波製紙株式会社
代表者名 代表取締役社長 三木 康弘
(コード番号：3896 東証第一部)
問合せ先 取締役常務執行役員 吉井 康夫
(TEL. 088-631-8101)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 29 年度から平成 31 年度までの 3 年間を対象とする中期経営計画を下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 会社の経営の基本方針

当社グループは、果たすべき使命として「紙の可能性を追求し、多様な機能材との新結合を図ると同時に、環境との調和を目指した商品・サービスの提供を通じて、人類・社会に貢献する」を掲げ、独自の製品・技術・サービスで世界一の会社を目指しております。

昨年、100 周年の節目に東証第一部銘柄に指定されました。新たなステージとして、私たちに出来る“コト”を進化させ、当社独自の技術・サービスを磨き上げ、周辺技術・サービスを取り込むことで、大変革を引き起こし、従来の延長線上にある「和紙からスタートした機能紙メーカー」から、人類・社会の問題やお客様のお困り事を解決する『コンサルティング型製造サービス業』へ脱皮変革を図ります。そして、一歩先を行く顧客価値を提供し、お客様の全幅の信頼を得ることにより、世界最高品質のAWAブランドを構築し、「顧客に最適な機能を提供し、環境に優しく、便利で快適な生活と文化を創造する会社」として進化・発展してまいります。

2. 中期経営方針

当社グループは、中期経営について以下の基本方針を掲げております。

「新市場の開拓と事業領域の拡大」

「中核商品のグローバル市場における競争優位の追究」

「新市場の開拓と事業領域の拡大」については、マーケティングとベンチマーク活動、アライアンス戦略により、次世代中核商品の開発と生産体制を確立し、事業領域をさらに拡大してまいります。

「中核商品のグローバル市場における競争優位の追究」については、コンパクト化に対応した高性能濾材の開発や次世代膜支持体の革命的開発など、他社が出来ない革命的・高性能商品でメインサプライヤーを目指し、売上・利益の最大化を図ってまいります。

このように、当社グループは世界に浸透するブランドの構築により、安定成長を見込む中核商品と成長分野での新事業からなる積極的な経営を目指してまいります。

3. 目標とする経営指標

当社グループでは、健全な経営と企業価値向上のため、総資本経常利益率(ROA)10%以上を目標として掲げております。

今回の中期経営計画については、3年後の総資本経常利益率(ROA)は8%といたします。

売上高及び利益率の持続的向上や資本の効率的運用に取り組み、この目標の達成に向けてグループ一丸となって注力してまいります。

以 上



経験・知識・発想

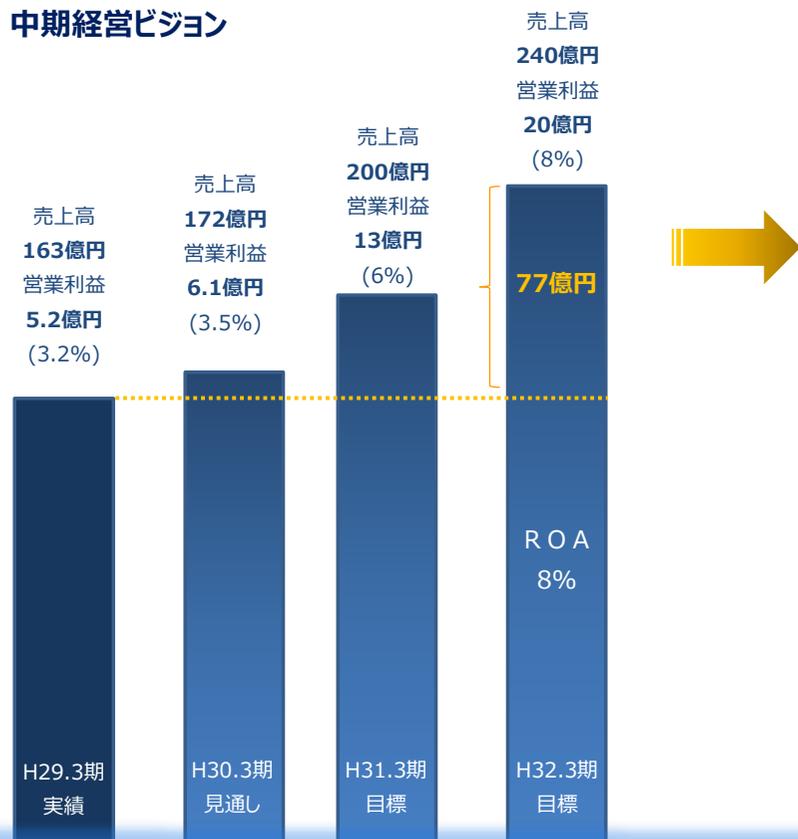
私たちは

「顧客に最適な機能を提供し、環境に優しく、便利で快適な生活と文化を創造する会社」

100年の節目を経て、新たなステージへ・・・

人類・社会の問題やお客様のお困り事を解決する『コンサルティング型製造サービス業』へ脱皮変革

中期経営ビジョン



事業成長戦略

新規事業 30億円

ブルーオーシャン、ブラックマテリアル、ホワイトプロダクツによる事業領域の拡大

- ブルーオーシャン : マーケティングとベンチマーク活動の拡充
- ブラックマテリアル : 次世代中核商品の開発と生産体制の確立
- ホワイトプロダクツ : アライアンス戦略による領域・業際の拡大

既存事業 47億円

競争優位の追求による売上・利益の最大化

- 他社が出来ない革命的・高性能商品でメインサプライヤーを目指す
- 世界に浸透するブランドの構築

成長戦略を連携・投資・人財で支える

経営基盤の強化

経営理念の進化

私たちは紙の可能性を追求し、多様な機能材との新結合を図ると同時に、環境との調和を目指した商品・サービスの提供を通じて人類・社会に貢献します。

多様な人財の採用と育成の計画的実行

戦略投資 (3カ年投資総額: 60億円)

- ・ 次世代中核商品の開発と生産体制の確立
- ・ M & A
- ・ 品質向上・環境対応とコスト削減の両立
- ・ B C Pの推進
- ・ A I による業務革新の推進

・ 注意事項

当社では事業環境の変化に対応するため、3年間の中期経営計画を1年毎に更新を行う「ローリング方式」を採用しております。

また、本資料に記載されている見通し・目標は、種々の前提に基づくものであり、将来の計数数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。